

平成28年度第1回九重町総合教育会議

議事録

■会議の概要

1. 日 時 平成29年1月30日(月) 10:00~10:40
2. 会 場 九重町役場庁舎 3階 301会議室
3. 出席者 九重町長 日 野 康 志
九重町教育長 濱 田 淳
九重町教育委員 佐 藤 住 子 (教育長職務代理者)
九重町教育委員 佐 藤 テイ子
九重町教育委員 井 上 東 介
九重町教育委員 甲 斐 充
九重町教育委員 吉 光 豊
(事務局)
総務課長 時 松 新 一
総務課行政GL 熊 谷 博 文
教育振興課長 原 田 勝 美
教育振興課参事 小 幡 英 二
教育振興課教育振興GL 江 藤 寿 雄
教育振興課教育指導GL 尾 方 道 晃
子育て支援課長 小 幡 靖 彦
(会議公開にかかる参加者)
なし
4. 会議の次第
 - 1) 開会
 - 2) 町長あいさつ
 - 3) 報告
 - ・制度の概要及び教育行政の体系について
 - 4) 協議
 - ・九重町教育大綱の見直しについて
 - 5) 今後の日程について

■会議録

(説明及び発言等内容は、要点のみとしています。)

次第・発言者	説明・発言等内容
<p>1. 開会 時松総務課長</p>	<p>平成28年度の第1回目の総合教育会議をただいまから開催いたしたいと思 います。どうぞよろしくお願いいたしたいと思います。それでは会議の次第 にそって進めさせていただきたいと思います。まず、総合教育会議の主催者 であります町長の方から挨拶をお願い致します。</p>
<p>2. 町長あいさつ 日野町長</p>	<p>1月もあっという間に30日となりました。本当に月日が経つのは早いと思 っております。今回は、教育制度の変更に伴う形で、昨年12月16日に新 しい教育長が決まり、そして、教育委員も2名の方が代わられたという事で、 新しい体制で臨まさせていただきたい。</p> <p>ご案内のとおり、今回は教育大綱を新たな年度に向けて改定・策定してい かなければなりません。その中で、大綱の一番主なものは、就学前教育、そ して学校教育、社会教育、それから、人権・同和教育、芸術文化スポーツで す。この五つの領域の中で、大綱を作成してまいります。</p> <p>この大綱が教育の一番の基本になると思っております。現在は、中学校統 合、こども園の施設一体化が図られ、何れも順調に進んでいると聞いており ます。そうした中で、来年度に向けて「このえ学園構想」の本格実施を控 え、私どもも、教育を一つの学園という形で表現し、連携がこれから大変重 要な時期になります。</p> <p>小学校の教育や中学校の教育は、他の地域では色んな課題が出ております。 九重町においては、統合した中学校の場合は、非常に前向きな結果も出てお ります。これは、皆さん方のご尽力の賜物だと思っております。同時に、現 場が、子どもたちが一番だとそのことを前提に、物事を進められていること が一つの結果に繋がっていると私は思っております。子どもたちが、ますま す「この地に住んでよかった」、そして「またこの地域に帰ってきたい」そう 思える町づくりを行っていただかなければなりません。そのためには、やはり教 育というのは非常に重要であるとも思います。</p> <p>本日は、教育大綱に関しまして、皆様方のご審議をいただき、地域が一体 となって教育が進められるようご意見を聞かせていただきながら進めさせ ていきたいと思います。よろしくお願致します。</p>
<p>日野町長</p> <p>3. 報告 原田教育振興課長</p>	<p>それでは3番目の【報告】制度の概要、及び教育行政の体系を説明してく ださい。</p> <p>別紙資料1は、前々回の教育委員会の資料で示しましたが、2名の新しい 教育委員が決定したということもあり、再度説明をいたします。</p> <p>総合教育会議の設置、概要の2番目に総合教育会議の設置と大綱の策定に</p>

	<p>伴う部分であります。その中で、町長が総合教育会議を設け、会議は町長が招集し、町長、教育委員会により構成されます。町長は、総合教育会議において、教育委員会と協議し、教育基本法第 17 条に規定する基本的方針を参酌し、教育振興に関する施策の策定をするという事になっておりますので、今回については、前回の大綱を見直すという案を提案します。</p> <p>次のページは、教育行政の体系です。本町の第 4 次総合計画中の教育を基に大綱を策定しており、本日審議いただき、その後に、教育行政基本方針を定めていきます。これにつきましては、午後の教育委員会で提案・説明いたします。</p> <p>制度の概要について報告がありました。何か質問等がありましたらお願いします。</p> <p>なし。</p>
<p>日野町長</p>	<p>それでは、次の協議に移らせていただきます。九重町教育大綱の見直しについて提案・説明してください。</p>
<p>4. 協議 教育大綱の見直し 濱田教育長</p>	<p>平成 27 年 4 月に新教育委員会制度に則り、九重町においては、現在出席中の教育委員 3 名の方に直接関わっていただき、平成 27 年の 5 月 8 日から 7 月 29 日まで、計 4 回の九重町総合教育会議を開催して、九重町教育大綱を策定していただきました。現行の大綱は、平成 28 年度末までという事が第 2 回の総合教育会議で決定しております。</p> <p>九重町を取り巻く教育の状況の変化や国や県のすう勢する変化から、この時期に教育大綱の改定版の論議を行い、平成 29 年度九重町教育行政方針を策定していきたい。この間、町長部局と協議し、日野町政における教育大綱を考えてきたと思いますので、この時期に総合教育会議を開催したことをご理解していただきたいと思います。</p> <p>それでは、九重町教育大綱の（案）の 1 ページ目については、町長より説明をいただきましたので省かせていただきます。</p> <p>2 ページ目から、基本方針については、4 番にありますが、この 5 点について整理をさせていただきましたので次のページから説明させていただきたいと思います。</p> <p>3 ページを開いてください。</p> <p>1. 九重町教育の基本理念 人づくりは、町づくりの基本であり、教育・文化はその実現の基礎となるものです。九重町第 4 次総合計画（平成 24 年度～平成 33 年度）では、「豊かな人間性を育む町づくり」を施策の大綱に掲げています。この総合計画に基づき、家庭・学校・地域が一体となって、幼児・児童・生徒の豊かな心・確かな学力・健やかな体の調和を重視した教育の充実に努めます。また、町民が生涯にわたって芸術・文化やスポーツに親しむ</p>

ことができるような環境整備と人材の育成、伝統文化や文化財の保護・保存、活用に務め、「日本一の田舎（コミュニティ）づくり」をめざします。

2. 大綱策定の趣旨 教育の目的は、「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身とともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。（教育基本法）です。教育の出発点は、家庭教育にあります。就学前の幼児が、基本的な生活習慣や発達段階に即したマナーを身に付け、健やかに成長するためには、保護者の関わりはもちろんのこと、こども園での保育・教育の充実や保護者への子育て支援、小・中学校との交流や地域社会との連帯が重要な役割をはたします。また、小・中学校においては、変化の激しい時代を生き抜く子どもたちは、社会の変化に対応するために人と協働しながら、自律的に考え行動できる力を身に付けなければなりません。そのためには、豊かな心づくりを基盤にした確かな学力・健やかな体の育成が求められています。学校教育活動の充実はもとより、家庭や地域と協働・連携しながら、大人や地域社会と多くの「関わり・つながり」を持つことが、「生きる力」を育む学びとなります。さらに、地域の大人が元気で活力にあふれていることも、子どもの教育に大きな影響を与えます。大人自身が、芸術・文化やスポーツに親しみ、楽しみながら学び続ける姿は、子どもたちのお手本となり、学校・地域の活性化につながります。このような“人づくり・町づくり”を目標に、家庭・学校・地域は協働・連携し、行政が支援しながら施策を推進するために本町教育大綱を策定します。

4 ページを開いてください。

3 大綱の期間 この大綱が対象とする期間は、平成 29 年度（2017 年度）からの 3 年間とし、平成 31 年度に見直しを行います。なお、教育振興基本計画（第 2 期）が平成 29 年度まで、九重第 4 次総合計画が平成 33 年度までの期間であることから、それぞれの計画と大綱の整合性を図る必要があります。したがって、平成 32 年度以降の見直しの時期及び期間については、総合教育会議で協議を行います。その下の図でございますが、4 段目の平成 22 年度から矢印が降りている九重町次世代育成支援行動計画ですが、これが平成 27 年度にストップしておりますが、平成 31 年度まで続けております。大変申し訳ありません。こちらの間違いでありますので正式なものは訂正をして差し替えをいたします。

上から 2 段目の改訂「九重町教育大綱」は来年度から 31 年度までと考えています。基本方針「九重町第 4 次総合計画」に基づき、次の 5 つの領域について目標の実現に努めます。1 項から 5 項までございますが、基本に挙げているのは、教育の中でも、心の教育というのを重点に挙げています。それから、九重学園基本計画の推進も一つの柱となっておりますので、そういったところをご覧になりながら聞いていただきたいと思います。

1 就学前教育 心身ともに健やかな子どもに生まれ育つことは、親や地域みんなの願いです。そのためには、子どもを安心して出産し、子育てできる環境を整備する必要があります。

5 ページをご覧ください。

本庁では平成 17 年度から幼稚園と保育園を一体化したこども園の運営に取り組んでおり、統一のカリキュラムのなかで保育・教育を実施しています。また、長年の懸案であった幼保一体化施設の整備は、平成 27 年度に「飯田こども園」が開園、平成 28 年度には「ここのえみつばこども園」が開園しました。今後は家庭、園、地域、民間事業者、行政が一体となった子育て支援体制の確立、保育・教育サービスの充実、安全・安心な環境整備、小学校との円滑な接続等に取り組み、子どもを産み育てやすい地域社会の実現を目指します。さらに、こども園を「ここのえ学園基本計画における「0 歳から 15 歳の教育」における「切れ目のない教育」の入り口として捉えます。

2 学校教育 平成 21 年に策定した学校再編整備計画に基づき、4 つの中学校を統合して、平成 25 年度、ここのえ緑陽中学校が開校しました。小学校は当分の間、現在の 6 校を維持しますが、少子化の進行により、適正規模を確保した教育が難しくなっています。少人数のメリットを活かしながらも、デメリットを克服する小学校間の連携や集合学習の取り組み等が必要となります。本町では、町内 2 つのこども園、6 つの小学校、1 つの中学校と 4 つの地区公民館を 1 つの学園と捉え、それぞれが密接に連携し、切れ目のない教育を行うことを目的とした「ここのえ学園基本計画」に取り組めます。このように、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進します。また、学校教育においては、基礎・基本の学習内容に加えて、実社会における様々な課題解決に資する思考力・判断力・表現力などの活用する力の育成が求められています。家庭・地域と連携を図り、一人ひとりの児童・生徒を大切にしたい教育活動を展開し、未来を見据えた「豊かな心・確かな学力・健やかな体」をバランスよく育み、「生きる力」の育成に取り組んでいきます。施設設備は、「九重町立小中学校施設整備計画」の維持管理に基づき、大規模改造事業を推進していきます。今後も安全な学校施設の維持管理に努めていきます。学校給食センターについては、健全な運営に努め、安全で安心な学校給食の提供に努めていきます。

6 ページをご覧ください。

(3) 社会教育 生涯学習社会の実現をめざし、生涯にわたる自主的・自発的な学習活動等を支援していくとともに、教育関係団体との連携を深め、学校教育と社会教育の融合と家庭教育の推進のための組織づくりに努めます。また、地区公民館の活性化に向け、住民の学習機会の保障とその喚起に努め、地区協議会と連携してより良い地域づくりに向けた住民との協働を目指します。急激な社会環境の変化に対応するため、各地区青少年健全育成協議会・学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組むための事業を推進します。グローバル化社会に対応するため、関係機関と連携した国際交流事業を推進します。さらに、「ここのえ学園基本計画」を柱とした学校・家庭・地域の連携と協働の実現に向け、PTA 組織等の各種団体との意見交換を軸に、地域全体での育成活動の推進に努めます。社会教育設

	<p>備整備については、野上・東飯田地区の公民館が老朽化しており、「地域交流センター(仮称)」として順次整備を図っていきます。また旧中学校体育館についても耐震化を図っていきます。</p> <p>(4) 人権・同和教育 すべての人権と基本的自由が尊重され、誰もが幸せに安心して自分らしく生きることのできる地域社会の創造を目指します。そのため、同和問題や女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、医療やさまざまな人権問題において、学校、家庭、企業、地域及び行政が連携して、正しい理解と意識の高揚を図るための人権・同和教育を推進します。また、平成28年度に法制化された「部落差別解消法」は、国との適切な役割分担を踏まえて、部落差別を解消するための教育と啓発活動に努めます。</p> <p>7ページを開いてください。</p> <p>(5) 芸術・文化・スポーツ 芸術・文化はまちづくりの基盤であり、歴史と文化を大切に、次世代に引き継ぐことが必要です。それと同時に、住民が参加してつくりだす新たな地域文化の創造も日本一の田舎づくりには欠かせないものとなります。本町では、歴史と文化の見える町づくりを新たなコンセプトに掲げ、住民一人ひとりが歴史と文化を楽しみ、体験できるよう、自主事業をはじめとした様々な事業展開や環境整備を推進します。また、事業実施の際も住民参加をより進め、住民同士の交流を促進し、日常的に歴史と文化が実感できるまちづくりを推進します。芸術・文化と同様に、スポーツの振興は‘人づくり・まちづくり‘の基盤として、重要な役割をはたします。普段の生活の中で様々なスポーツにふれあい、体力や年齢・目的などに応じて、誰もが、いつでもどこでも気軽にスポーツを楽しめるよう、多様なニーズに対応できるスポーツ環境を整備し、生涯スポーツ社会の実現を図ります。</p> <p>以上で終わります。</p> <p>それでは、教育大綱について説明がございましたけれども、皆さん方から質問・ご意見を聞かせていただきたいと思えます。</p> <p>5ページの、就学前教育の6行目に、今後は家庭、園、地域、民間事業者、行政が一体となった子育てという事がうたっているんですが、この中の民間事業者というのはどういう業者のことです。</p> <p>九重町内だけでは入園できないお子さん、又、町外に就労されている保護者の方のお子さんの預入れなど、具体的には玖珠町の保育園、遠くなりますと由布市とか、それらを総称しまして民間事業者というふうに表現しております。</p> <p>わかりました。</p>
日野町長	
井上教育委員	
小幡子育て支援課長	
井上教育委員	

日野町長	<p>他にございませんか。</p> <p>なし。</p>
日野町長	<p>それでは、改定の教育大綱の策定に向けて準備を進めます。よろしいですか。</p> <p>良い。</p>
日野町長	<p>それでは、今後の日程についてお願いします。</p>
時松総務課長	<p>今後の日程を説明したいと思います。</p> <p>この会議において、改訂版の教育大綱が了承されたという事で、今後は公表等に向けて進めて行きたいと思えます。まず、議会に三月の定例会の時に説明をして、それから公表の手続をしたいと思えます。現大綱が、年度末まで、改定の大綱は4月1日から3年間の大綱という事で公表をしていきたいと思えます。3月中にホームページ等でも改訂版を町民等にもお知らせをしたいと考えています。</p> <p>以上です。</p>
日野町長	<p>ただ今の説明・内容でよろしいですか。</p> <p>良い。</p>
井上教育委員	<p>公表について、ホームページを中心という事ですが、町報の方でも少しずつでも連載という形でできませんか。</p>
時松総務課長	<p>ページ数が限られていますので、何回かに分けて載せることは可能かと思えます。検討して、できれば掲載していきたいと思えます。</p>
その他について	
吉光教育委員	<p>今の小学校の6校の状態ですけど、議会の議員さんから「今後どうなんだ」という問いが出たと思えます。毎回町議さんが言われている気がするので、町としての方向性がある程度示されれば良いのではないかと。</p> <p>やはり、地域で学校をできるだけ残してほしいという事で、何年も前から活動してきたという経緯があるので、学校のPTAも安心していただける場所があると思えます。</p>
原田教育振興課長	<p>九重町の第4次総合計画で、33年度までは6校を継続するという方針です。</p>

	<p>転入・転出などの要因もありますが、今後の現状は、概ね今年度と変わりません。多少の上下はあります。第4次総合計画の6校そのまま継続という考え方でいいのではないかなと思っております。</p>
吉光教育委員	<p>何か文章的には記してありますか。</p>
原田教育振興課長	<p>5ページの学校教育、2番の学校教育、「小学校は当分の間、現在の6校を維持します」この部分です。</p>
吉光教育委員	<p>そこを強調してないのではないか。承認されているにもかかわらず議会の質問が出るのがおかしくないですか。</p>
原田教育振興課長	<p>前回の議員さんの質問の中の捉え方の問題ですけど、淮園と野矢について、野矢地域に公営住宅を建てれば子どもたちが増える。建てればどうかという質問ではなかったかと解釈しました。企画調整課長の方から、町営住宅より、空き家住宅に入ってもらえればという回答であったと思います。</p> <p>新規に町営住宅を建てるとするのは土地の問題もあり、それは難しいという考え方の経過があります。</p> <p>一番大きい問題点とするならば、複式学級の解消という部分を指してると捉えました。</p>
吉光教育委員	<p>分かりました。</p>
濱田教育長	<p>平成27年4月1日から教育委員会制度改正により、総合教育会議という形で、教育大綱の策定が中心にあったと思います。</p> <p>新教育委員会制度で目指しているものは、いろんな問題・課題について町長を中心にして、様々な町が抱えている教育課題を解決していくということがありますので、今後は、緊急に総合教育会議を開催していくことも想定しておかなければいけないと思いますので、そのように認識していただきたいと思います。</p> <p>私も町長と随時情報交換等を踏まえながら、九重の教育課題について教育行政を進めていきたいと思いますので、皆さんもぜひご協力をお願いします。</p>
日野町長	<p>これで総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>